

植物多様性センターの「リンドウの花」

奥多摩ゾーンでリンドウの花が咲いています。リンドウはリンドウ科リンドウ属の山野に自生する多年草です。茎は花が咲くころには倒れていることが多く、低いところで咲いています。雄性先熟という性質で、咲き始めの頃は雄しべから花粉を出し、後から雌しべが成熟する仕組みで自家受粉を防いでいます。リンドウの花は太陽が出ているときのみ開くため、雨や曇りの日は閉じています。観察をする際には天気の良い日にお越しください。



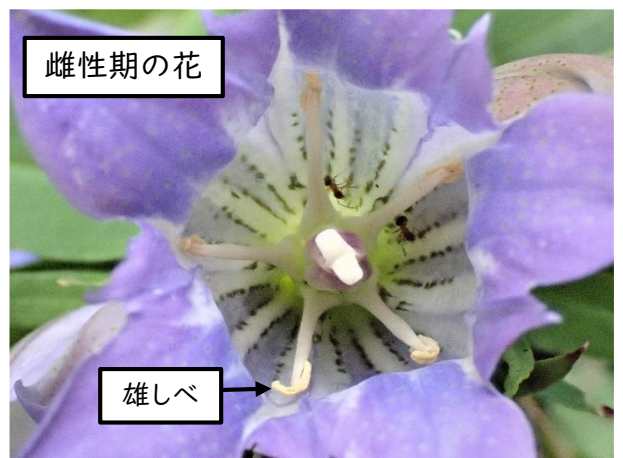
花期は9-11月。青紫色の花被は5裂する。



花がつく位置は茎頂と上部の葉腋。



花卉の斑点で光合成をしているという研究が最近発表された。



柱頭は2裂する。雄しべは花粉が無くなると外側に開く。